

エチオピア：キマント族の属性を持つ者に対するアムハラ州内又は州外におけるアムハラ族や政党、政府組織、民間企業等による取り扱いに関する情報

エチオピアの「キマント族の属性を持つ者に対するアムハラ族や政党、政府組織、民間企業等による取扱い（2000年～現在）」に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連しうる情報として、既に調査済みとして指定されたインターナショナル・クライシス・グループの2020年6月12日付け報告のほか、以下の情報が見つかりました。

1. キマント族の属性を持つ者に対するアムハラ州内での取扱い..... 1
 2. アムハラ州以外の地域でのキマント族住民の状況 10
- 参照： 10

1. キマント族の属性を持つ者に対するアムハラ州内での取扱い

ア 国連難民高等弁務官（UNHCR）「[地域アップデート 22 号 エチオピアの状況（ティグライ州）](#)」 ecoi（2021年9月30日）

キマント族の庇護希望者が大幅に増加し、約 540 人が新たにスーダン東部に入国しました。これにより、7月に流入が始まって以来、キマント族の庇護希望者の数は 1,991 人に達しました。…

イ クリスチャン・ソリダリティー・ワールドワイド（CSW）「[エチオピア：ティグライでの暴力](#)」 ecoi（2021年9月）

軍の進撃に呼応するかのよう、エチオピア全土でティグライ人の民族市毀滅検査が強化され、強制的な失踪、幼い子どもを含む恣意的な拘束、アディスアベバにある約 4 万 8,000 のティグライヤ人が経営する企業の差し押さえと強制閉鎖が報告されている。700 人のティグライ人の軍人とその家族がオロミア州のキャンプに収容されていると伝えられている。ゴンダールでは、ティグライ人であることを理由に暴行を受けている若者や、ティグライ族と民族的に血縁関係にあるとされるキマント族の少なくとも 10 体の男性の遺体など、民族に根ざした深刻な暴力行為を示す不穏な映像や写真が引き続き出てきている。…

ウ オーストラリア出身国・庇護研究ドキュメンテーションセンター（ACCORD）「[エチオピアに関するクエリー回答\[a-11186\]:キマント族\(Kemant, Qemant, Qimant, Kimant\)に関する情報（同民族の重要性、当局による取扱い、民族不安）](#)」 ecoi（2020年2月）

概要（自治を求める動き、政府機関の反応）

〔省略〕

混乱と当局の対応

EU 緊急対応調整センター (ERCC) は 2019 年 2 月、ノース・ゴンダール県のキマント族とアムハラ族の間で、キマント民族による自治の要求に関連して、2018 年半ばから緊張が高まっていると報告した。特に、2018 年 11 月以降、暴力と避難が発生している。

「ノース・ゴンダールでのここ 2 週間の衝突により、アムハラ州の国内避難民の数は推定 9 万人に達している。そのうち 4 万人は、ノース・ゴンダール県におけるキマント族とアムハラ族の民族間の紛争に関連している。数十人の死者が出ており、家や村の焼失も拡大している。2018 年半ばから、キマント族による自治権の主張に関連して、緊張が高まっていた。特に 2018 年 11 月以降、暴力と避難民が発生している。千人以上のキマント人が国境を越えてスーダンに入り、数百人が庇護を希望している。」(2019 年 2 月 25 日付け ERCC)

2018 年 12 月、中国の国営通信社である新華社は、アムハラ州のセントラル・ゴンダール県の当局者の話として、2018 年 12 月 5 日から 8 日にかけて、同県でアムハラ族とキマント族の衝突が発生したと報じた。7 人が死亡したと報告されている。この衝突により、多くの人々が避難し、家屋 480 棟が焼失した。ここ数ヶ月、アムハラ州の各地で、アムハラ族とキマント族の活動家が衝突し、数名の死者が出ている。

「エチオピア北部のアムハラ州で発生した民族衝突により、7 人が死亡したとエチオピア政府関係者が木曜日に発表した。アムハラ州セントラル・ゴンダール県の副長官であるバンティウム・メコネン [Bantihun Mekonen] は、報道発表の中で、民族衝突はアムハラ族と少数民族であるキマント族の間で起こったと述べた。メコネンによると、12 月 5 日から 12 月 8 日にかけて発生したこの衝突では、480 棟の家屋が焼失し、多数の避難民が発生した。また、この民族衝突は州と連邦の治安部隊の介入によって阻止されたと述べている。ここ数ヶ月、アムハラ州の一部では、多数派のアムハラ族とキマント族の活動家との間で死傷者を出す衝突が発生しており、数名の死者と数千人の避難民が出ている。キマント族は、アムハラ州の北西部に住む少数民族である。近年、キマント族の活動家らは、アムハラ州の中に自分たちの自治区を持つことを求めて運動している。」(2018 年 12 月 20 日付け新華社)

インターナショナル・クライシス・グループ (ICG) のエチオピア専門家であるウィリアム・ダビソン [William Davison] が運営するニュースサイト「エチオピア・インサイト [Ethiopia Insight]」は、2018 年 12 月に、チルガ [Chilga] 郡、ゲンダ・ウーハ [Genda Wuha] およびシンファ [Shinfa] でキマント族の家屋が放火されたと報じられたことに言及している。キマント族の自治を求める委員会のメンバーであるイルガ・テシャガー [Yirga Teshager] によると、軍が事態

を收拾するまでの 1 週間の間に、ウエスト・ゴンダール県のミテマ [Metema] とチルガの両郡で、州の治安部隊と暴徒が少なくとも 42 人のキマント人を殺害したという。アムハラ州の治安責任者であるアサミニュー・ツィゲ [Asaminew Tsige] によると、キマント族は戦闘の加害者であり、最近発生した 2 つの暴力事件で少なくとも 69 人を殺害したという。また、9 つの近くの製粉工場と 67 棟の家屋が焼失し、「虐殺」された人々がいたという。

「…地元住民はまた、アムハラ州政府が徐々に周辺のキマント族の村々 [ケ Kebele] を支配しようとするのではないかと心配していると、イルガ・テサガー [Yirga Teshager] (司祭、元公務員、キマント族の自決を求める委員会の構成員) は説明した。こうした懸念は、アムハラ州政府が昨年、69 の地区でキマント族に自決権を認めたものの、他の 3 つの地区では「ほかの領域と隣接していないため、キマント族の統治には適していない」として自決権を保留したことに起因する。先月、キマント族がメガ [Meqa] に設けた銃器の検問所は、意図された通りにトラブルを防ぐどころか、衝突を引き起こした。その 2 日後、紛争は再びチルガ郡、ゲンダ・ウーハ、シンファの周辺地域に拡大し、キマント族の家屋が放火されたと報告されている。州治安部隊と暴徒らは、軍が事態を收拾するまでの 1 週間の間に、ウエスト・ゴンダール県のミテマとチルガの両郡で少なくとも 42 人のキマント人を殺害した、とイルガは話した。「アムハラ州治安担当者のアサミニュー・ツィゲは、最近の 2 つの紛争で少なくとも 69 人が死亡した戦闘の加害者はキマント族であると述べた。この紛争は、アムハラ族ではなく、キマント族が引き起こしたものだ。9 つ近くの製粉工場が焼かれ、67 戸の家屋が焼かれ、虐殺された人々がいた。」(2018 年 12 月 16 日付けエチオピア・インサイト)

この記事はさらに、事件の被害者が「キマント族は殴られて殺された」と述べていることも紹介されている。この被害者はまた、キマント族に影響を与えている強制退去や政府の仕事からの解雇についても報告した。キマント族はミテマでは生きていくことは出来ないであろう。この被害者によると、ここ 2 週間で、州治安部隊が暴徒を武装させ、それらの暴徒が「狩り」を始めたという。すべてのキマント族は農場から追い出され、財産を奪われ、倉庫に入れられてしまう。彼らの家は放火されてしまう。

「最近の被害者の一人であるベレトゥ [Beletu] は、政治活動家を通じて連絡を受けたが、民族浄化のようなキャンペーンについて描写し、「キマント族は殴られたり、殺されたり、立ち退かされたり、政府の仕事了解雇されたり、ミテマには住めないと言われたりした」と述べた。この 2 週間で、州治安部隊が暴徒を武装させ、それらの暴徒が狩りを始めた。すべてのキマント族は自分らの農場から連れ去られ、財産は奪われ、そして倉庫に入れられ、また、彼らの家は放火されている。」(2018 年 12 月 16 日付けエチオピア・インサイト)

2019 年 2 月のアディス・スタンダード [Addis Standard] の記事によると、Deutsche Welle のアムハラ語サービスの記事を参照しているが、ゴンダール県の

チルガ郡でアムハラ族とケマント族のグループ同士の衝突があった。この衝突により、ゴンダールとミテマを結ぶ道路が閉鎖された。セントラル・ゴンダール県の警察署長によると、この衝突で人命が失われ、財産が破壊された。

「DW [Deutsche Welle] アムハラ語サービスの先の報道によると、セントラル・ゴンダール県のチルガ郡でアムハラ族とキマン族のグループ同士が衝突し、2月1日現在、ゴンダールとミテマを結ぶ道路が閉鎖されているという。また、同県の警察署本部長であるエニュー・ゼウディー [Enyew Zewdie] 署長の言葉を引用し、この衝突で人命が失われ、財産が破壊されたと伝えている。同署長は死者の数については言及していない。」(2019年2月7日付けアディス・スタンダード)

エチオピアのオンラインニュースポータル「イゼガ [Ezega]」によると、2019年9月下旬にチルガの町で警察官を含む数十人が殺害され、数人が負傷したとアムハラ州の当局者が述べている(2019年9月30日付けイゼガ)。また、ニュースサイト「ボルキナ [Borkena]」の記事は、セントラル・ゴンダールで再び暴力が発生し、アムハラ族とキマント族に影響が出ていると言及している(2019年9月30日付けボルキナ)。アムハラ州当局は、この攻撃について、キマント民族アイデンティティ再生委員会を非難していた(2019年9月30日付けイゼガ)。2019年11月、UNOCHAは、緊迫した政治状況の中で、2019年9月下旬にチルガで武力衝突が発生したことを報告した。複数の死傷者が出て、約1万5,000人が避難民となった。また、ゴンダールとミテマの間では道路封鎖が行われた。(2019年11月6日付けUNOCHA、S.2)

ロイターは2019年10月の記事は、政党「アムハラ国民運動 (NAMA)」党代表のデサレン・チェイン [Desalegn Chane] を引用している。同人によると、2019年9月30日に武装した男たちがゴンダール市に向かうミニバスを待ち伏せし、10人を殺害した。その翌日にはアムハラの特務部隊を輸送する2つの護送車が襲撃され、12人の兵士が殺害された。デサレン・チェインは、これら暴力について、キマント族の民族自決を求めて運動している地元選出の指導者らのグループであるキマント委員会を非難している。キマント委員会のフェカドゥ・マモ [Fekadu Mamo] 委員長は、この疑惑を否定し、コミュニティの個々のメンバーらが、民兵に標的にされていた後、自衛のために反撃したと述べている。ゴンダールの住民は、17人の民兵の遺体を見たと話した。

「エチオピア北部のアムハラ州で、地域の特務部隊と少数民族との衝突により、過去5日間で少なくとも20人が死亡したと、地元の政治関係者が木曜日に発表した。…新政党「アムハラ国民運動」(NAMA)のデサレン・チェイン党代表がロイターに電話で語ったところによると、先週金曜日、アムハラ州北部のゴンダール市に向かうミニバスを武装した男たちが待ち伏せして10人を殺害したことが発端となった。その翌日には、アムハラの特務部隊を乗せた2台の車列が襲撃され、12人の兵士が死亡したという。チェインは、今回の暴力事件を、アムハラ州の下位民族であるキマント族の自決を求める地元選出の指導者グループである「キマント委員会」と関連づけている。金曜

日に、ミテマからゴンダールに向かうミニバスがキマント委員会によって待ち伏せされた。全員が殺され、10人の民間人が犠牲となった」と話した。同委員会と攻撃を結びつける証拠は何も示さなかった。同委員会の委員長であるフェカドゥ・マモは、民兵に狙われたコミュニティの個々のメンバーが自衛のために反撃したのだと述べ、この非難に反論した。報復を防ぐために名前を伏せたゴンダールの住民は、17人の民兵の遺体を見たこと、キマント委員会のものと思われるホテルが破壊されていることを語った。」(2019年10月4日付けロイター)

アディス・スタンダードも2019年10月に、2019年9月中旬以降のセントラル・ゴンダール県のチルガ郡での戦闘について報告している。アディス・スタンダードによると、2019年9月中旬、セントラル・ゴンダール県でアムハラ州の特殊警察部隊と武装した農民の間で戦闘が発生した。農民を中心に複数人が殺された。また、キマント族コミュニティのメンバーは、ファンノ [Fanno] (アムハラ語で若者グループ。注: ACCORD) と書かれた制服を着た青年らが、「キマント族アイデンティティ委員会」のメンバーを逮捕することを許可してほしいと主張したと述べている。これが、ここ数週間の死傷者を出した暴力の勃発の直接的な原因であると言われていた。

「この近時の騒動の中心となっている地域は、キマント民族アイデンティティ委員会を中心としたキマント族によるアイデンティティの問題が州政府との関係の中心となってきたセントラル・ゴンダール県のチルガ郡と、つい先日からはまったゴンダール市とその周辺の地域である。セントラル・ゴンダール県におけるアムハラ州特別警察隊と武装した農民らとの間の戦闘の報告は、9月中旬から表面化し、新たな激しい銃撃戦の結果、農民を中心に数名の命が奪われたと伝えられている。また、AP通信の記者は、キマント族コミュニティのメンバーの話として、「ファンノ」と書かれた制服を着た青年らがいて、キマント族アイデンティティ委員会のメンバーを逮捕できるはずだと主張していた」と伝えている。この状況が、過去数週間に起こった死傷者を出した暴力事件の直接的な原因であると言われている。」(2019年10月3日付けアディス・スタンダード)

2019年10月にボルキナが掲載した記事によると、セントラル・ゴンダールでは約1年前から散発的な暴力が発生している。これまでに10万人近くの人々が避難している。ティグライ人民解放戦線 (TPLF) (エチオピア人民革命民主戦線 (EPRDF) 連合の与党であり、ティグライ州政府の与党でもある。注: ACCORD) は、この地域を紛争地域に変えようとしていると非難されている。TPLF はまた、キマント民族アイデンティティ委員会の背後にいと非難されている。

「ゴンダール中央部では、1年近く前から散発的な暴力が発生しており、10万人近くが国内避難を余儀なくされている状況にある。ティグライ人民解放戦線 (TPLF) は、この地域を戦場にする戦略をとっており、キマント民族アイデンティティ委員会を名乗る人々の背後にいと非難されている。最近のテ

イグライ族の政治家の発言は、TPLF が独自に開戦する可能性を示唆しているが、誰に対する戦争かはまだ不明である。」(2019 年 10 月 17 日付けボルキナ)

アディス・スタンダードが 2019 年 10 月に言及したところによると、アムハラ州安全保障評議会は声明の中で、過去 5 年間にアイデンティティの問題に関連した人命の損失と財産の破壊があったと述べている。この声明は、ここ数週間、セントラル・ゴンダールとウエスト・ゴンダール、ゴンダー市、キマント行政区で暴力が再燃していることを受け、2019 年 10 月 16 日付けで発表されたものである。先週は落ち着いていたものの、今週に入ってから再び不安な状況が続いているという。しかし、これらの事件は以前の騒動とは関係なく、私的な喧嘩に関連したものであったと安全保障会議は声明で述べている。しかし、この主張に対して「キマント中央委員会」と名乗るグループが反論している。このグループは、同州の治安部隊が、同州の少数民族であるキマント族の殺害や強制退去など、大規模で無差別な攻撃を行ったと非難している。

「アイデンティティの問題をまとった混乱状態は、過去 5 年間にわたって人命の損失と財産への損害をもたらしてきたと、アムハラ州安全保障評議会が 2019 年 10 月 16 日付けで発表した声明は述べている。[...] 先週は事態が沈静化したものの、今週は、州政府が「以前の混乱とは関係なく、私的な喧嘩に関連したものである」と 10 月 14 日 (月) に発表したように、この地域で再び混乱が発生した。しかし、この主張に対して「キマント中央委員会」を名乗るグループが異議を唱えており、州政府の治安部隊が地域の少数民族であるキマント族コミュニティの殺害や強制退去などの「大規模」かつ「無差別」な攻撃を行っていると言非難している。(2019 年 10 月 17 日付けアディス・スタンダード)

2019 年 12 月には、インターナショナル・クライシス・グループ (ICG) も、アムハラ州の治安部隊と、キマントのメンバーで構成される民兵との間で再び暴力が発生したことを報告している。ここ数週間で数十人の人々が殺害された。キマント族は、アムハラ州の少数民族であり、自治権の拡大を目指している。敵対するアムハラ人らは、彼らが TPLF の支援を受けていると言非難しているが、この州の鎮静化に携わった軍人によれば、これは何の根拠もない主張だという。

「アムハラ州の治安部隊とキマント族の民兵との間で暴力行為が繰り返され、数十人が死亡した。キマント族は自治権の拡大を求めるアムハラ州の少数民族であるが、敵対するアムハラ人らは彼らが TPLF の支援を受けていると言主張している。」(2019 年 12 月 16 日付け ICG、S. 8)

「ICG インタビュー、アムハラ州当局幹部 2 人と軍当局者、2019 年 11 月。アムハラ州のキマント族は、州当局がある程度の自治権を認めた後、より多くの自治権を要求している。」(2019 年 12 月 16 日付け ICG、S. 8、FN 44)

エ オーストリア出身国・庇護研究ドキュメンテーションセンター (ACCORD)

「エチオピア：COI 編纂」ecoi (2019 年 11 月)**7.2.3 キマント族 (Qemant, Kemant, Kimant, Qimant) とアムハラ族の衝突**

2019 年 2 月の緊急対応調整センター (ERCC) の報告の通り、ノース・ゴンドール県 [zone] におけるキマント族とアムハラ族の緊張が、「2018 年半ばからキマント族による自治の要求に関連して」高まっている。特に 2018 年 11 月以降、暴力と避難民が発生した (ERCC、2019 年 2 月 25 日)。2018 年 12 月 5 日から 8 日にかけて、アムハラ州のセントラル・ゴンドール県で、アムハラ族とキマント族のコミュニティの間で衝突があった。この衝突で「家屋 48 棟戸が焼かれ、多数の人々が避難民となった」。ここ数カ月、アムハラ族グループとキマント族活動家らとの間では、アムハラ州のさまざまな地域で死傷者を出す衝突が発生しており、数名が殺害された (2018 年 12 月 20 日付け新華社)。2018 年 12 月のエチオピア・インサイト [Ethiopia Insight] の言及の通り、チルガ [Chilga] 郡、ゲンダ・ウーハ [Genda Wuha] およびシンファ [Shinfa] でキマント族の家屋が放火されたと伝えられている。キマント族の自決を求めるキャンペーンを行っている委員会のメンバーであるイルガ・テサガー [Yirga Teshager] によると、「地域の治安部隊と暴徒が、軍が状況をコントロールする前に、ウエスト・ゴンドール県のミテマ [Metema] 郡とチルガ郡で 1 週間に少なくとも 42 人のキマント族を殺害した」という。アムハラ州の治安責任者であるアサミニュー・ツィゲ [Asaminew Tsige] によると、「キマント族は最近の 2 つの騒動で少なくとも 69 人が殺害された戦闘の加害者である」という。同氏はさらに、「9 つ近くの製粉工場が焼かれ、67 戸の家屋が焼かれ、虐殺された人々がいた」と付け加えた (2018 年 12 月 16 日付けエチオピア・インサイト)。同記事ではさらに、政治活動家を介して連絡が取れたキマント族の被害者に言及している。

「最近の被害者の一人であるベレトゥ [Beletu] は、政治活動家を通じて連絡を受けたが、民族浄化のようなキャンペーンについて描写し、「キマント族は殴られたり、殺されたり、立ち退かされたり、政府の仕事を解雇されたり、ミテマには住めないと言われたりしたと述べた。この 2 週間で、州治安部隊が暴徒を武装させ、それらの暴徒が狩りを始めた。すべてのキマント族は自分らの農場から連れ去られ、財産は奪われ、そして倉庫に入れられ、また、彼らの家は放火されている。」 (2018 年 12 月 16 日付けエチオピア・インサイト)

2019 年 2 月、「セントラル・ゴンドール県のチルガ郡でアムハラ族とキマント族のグループ同士が衝突し、ゴンドールとミテマを結ぶ道路が閉鎖された」。セントラル・ゴンドール県警察署長エニュー・ゼウディー [Enyew Zewdie] によると、「この衝突で人命が失われ、財産が破壊された」 (2019 年 2 月 7 日付けアディス・スタンダード)。

2019 年 9 月末時点で、「エチオピアのノース・ゴンドールのチルガ町での攻撃で、警官を含む数十人が殺害され、数人が負傷した」とアムハラ州当局者が述べている (2019 年 9 月 30 日付け Ezega)。また、ボルキナ [Borkena] による 2019 年 9 月 30 日の記事では、「エチオピアのゴンドール県中央部で、アムハラ族系コミュ

ニティとキマント族系コミュニティに影響を与える…暴力が再び発生した」と言及している（2019 年 9 月 30 日付けボルキナ）。アムハラ州当局は、その攻撃について、「キマント族アイデンティティ回復委員会〔Qimant Identity Regaining Committee〕」を非難している（Ezega、2019 年 9 月 30 日）。UNOCHA の報告の通り、「9 月末時点で、アムハラ州のキマント族の古い政治的な対立が、チルガ（ノース・ゴンダール県）で新たな武力衝突に激化し、複数の死傷者が出て、約 1 万 5,000 人が避難民となり、ゴンダールとミテマの間の道路封鎖が報告された」（2019 年 11 月 6 日付け UNOCHA、2 頁）。

アムハラ民族運動（NAMA）党代表のデサレン・チェイン〔Desalegn Chane〕によると、2019 年 9 月 30 日に「武装した男たちがゴンダール市に向かうミニバスを待ち伏せし、10 人を殺害した」。その翌日にはアムハラの特種部隊を輸送する 2 つの護送車が襲撃され、12 人の兵士が殺害された。デサレン・チェインは、その暴力について「アムハラ州の民族下位集団であるキマント族の民族自決を求めて運動している地元選出の指導者らのグループであるキマント委員会」を非難した。キマント委員会のフェカドゥ・マモ〔Fekadu Mamo〕委員長は、この嫌疑を否定し、「コミュニティの個々のメンバーらが、民兵に標的にされていた後、自衛のために反撃した」と述べた。ゴンダールの住民によると「17 人の民兵の遺体を見た」とのことである（2019 年 10 月 4 日付けロイター）。2019 年 10 月、アディス・スタンダードは、2019 年 9 月中旬以降のセントラル・ゴンダール県での戦闘について報告している。

「この近時の騒動の中心となっている地域は、キマント族アイデンティティ委員会を中心としたキマント族によるアイデンティティの問題が州政府との関係の中心となってきたセントラル・ゴンダール県のチルガ郡と、つい先日から始まったゴンダール市とその周辺の地域である。セントラル・ゴンダール県におけるアムハラ州特別警察隊と武装した農民らとの間の戦闘の報告は、9 月中旬から表面化し、新たな激しい銃撃戦の結果、農民を中心に数名の命が奪われたと伝えられている。また、AP 通信の記者は、キマント族コミュニティのメンバーの話として、「ファンノ〔Fanno〕」と書かれた制服を着た青年らがいて、キマント族アイデンティティ委員会のメンバーを逮捕できるはずだと主張していた」と伝えている。この状況が、過去数週間に起こった死傷者を出した暴力事件の直接的な原因であると言われている。」（2019 年 10 月 3 日付けアディス・スタンダード）

2019 年 10 月のボルキナの記事によると、「約 1 年ほど前からゴンダール県中部で散発的な暴力が発生している」という。TPLF は「この地域を戦場にする戦略」を続け、「キマント族アイデンティティ委員会を名乗る者たちの背後にいる」と非難されている（2019 年 10 月 17 日付けボルキナ）。2019 年 10 月 17 日付けのアディス・スタンダードもまた、「過去数週間にセントラル及びウエスタン・ゴンダール、ゴンダール市およびキマント族行政区で再燃した暴力に続く」状況を報じている。

「アイデンティティの問題をまとった混乱状態は、過去 5 年間にわたって人命

の損失と財産への損害をもたらしてきたと、アムハラ州安全保障評議会が 2019 年 10 月 16 日付けで発表した声明は述べている。[...] 先週は事態が沈静化したものの、今週は、州政府が「以前の混乱とは関係なく、私的な喧嘩に関連したものである」と 10 月 14 日（月）に発表したように、この地域で再び混乱が発生した。しかし、この主張に対して「キマント中央委員会」を名乗るグループが異議を唱えており、州政府の治安部隊が地域の少数民族であるキマント族コミュニティの殺害や強制退去などの「大規模」かつ「無差別」な攻撃を行っているとの非難している。（2019 年 10 月 17 日付けアディス・スタンダード）

ザ・リポーター・エチオピア [The Reporter Ethiopia] による 2019 年 10 月の記事は、セントラル・ゴンダールとゴンダール市内での「数週間にわたる暴力、多数の民間人と州治安当局者の生命が失われたこと」に言及している。アムハラ州は、陸軍を含む連邦治安部隊の介入を要請している（2019 年 10 月 19 日付けザ・リポーター・エチオピア）

オ [米国国務省「人権状況に関する国別報告 2019 年 エチオピア（法務省仮訳）」](#)
入管庁ウェブ（2020 年 3 月 11 日）

第 6 節 差別、社会的虐待及び人身売買

...

その他の社会的暴力又は差別

2019 年 2 月 9 日に、キマント (Qimant) 族コミュニティ出身の複数の武装グループが、アムハラ州ゴンダール (Gondar) 付近の村々を襲撃した。アムハラ州当局者が、約 300 人の襲撃者が約 300 軒の家屋を破壊し、30 人を殺害したと報告した。その暴力事件で新たに 50,000 人ほどの国内避難民が生じたということであり、アムハラ州政府は、国内避難民の数は政府が管理できる能力を超えているという声明を出した。ENDF が、その暴力事件と関係したとされる、西ゴンダールの 138 人を逮捕した。警察は、37 人を殺害の容疑で、また 101 人を襲撃中の略奪の容疑で逮捕した。ENDF は、それらの逮捕者から携行式ロケット弾などの武器も押収した。

カ [米国国務省「人権状況に関する国別報告 2016 年 エチオピア（法務省仮訳）」](#)
入管庁ウェブ（2017 年 3 月 3 日）

第 1 節 個人の完全性の尊重、以下の不利益からの自由など：

a 恣意的な生命の剥奪及び他の法に基づかない又は政治的動機による殺害

…エチオピア人権委員会 (EHRC) はさらに、アムハラ州の国家特別治安部隊がアムハラ州のケマント (Kemant) 族コミュニティに対して過剰な武力を行使したと強く主張した。…

2. アムハラ州以外の地域でのキマント族住民の状況

本調査回答に係る時間的制約の中では、アムハラ州以外の地域でのキマント族住民の状況に関する情報は見つけれませんでした。

[以上]

参照：

(報告)

オーストリア出身国・庇護研究ドキュメンテーションセンター (ACCORD)

「Anfragebeantwortung zu Äthiopien: Informationen zur Volksgruppe der Kemant (Qemant, Qimant, Kimant) (Bedeutung der Volksgruppe, Behandlung durch die Behörden, Unruhen) [a-11186] [エチオピアに関するクエリー回答 [a-11186] : キマント族 (Kemant, Qemant, Qimant, Kimant) に関する情報 (同民族の重要性、当局による取扱い、民族不安)] ecoi (2020 年 2 月 3 日)、オンライン：
<https://www.ecoi.net/en/document/2025039.html>

_____. 「Ethiopia: COI Compilation [エチオピア : COI 編纂]」 ecoi (2019 年 11 月)、
オンライン：
https://www.ecoi.net/en/file/local/2021013/ACCORD_Ethiopia_COI_Compilation_November_2019.pdf

クリスチャン・ソリダリティー・ワールドワイド (CSW) 「エチオピア : ティグライ
での暴力」 ecoi (2021 年 9 月)、オンライン：[https://docs-
eu.livesiteadmin.com/dc3e323f-351c-4172-800e-4e02848abf80/violence-in-tigray-
september-2021.pdf](https://docs-eu.livesiteadmin.com/dc3e323f-351c-4172-800e-4e02848abf80/violence-in-tigray-september-2021.pdf)

国連難民高等弁務官 (UNHCR) 「Regional Update #22 – Ethiopia Situation (Tigray Region)
[地域アップデート 22 号 エチオピアの状況 (ティグライ州)]」 ecoi (2021 年
9 月 30 日)、オンライン：
<https://www.ecoi.net/en/file/local/2061340/Ethiopia+%28Tigray%29+Situation+External+Updates+30+September.pdf>

米国国務省 「人権状況に関する国別報告 2019 年 エチオピア (法務省仮訳)」 入管庁
ウェブ (2020 年 3 月 11 日)、オンライン：
https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyuukokukanri03_00019.html

_____. 「人権状況報告 2016 年 - エチオピア (法務省仮訳)」 入管庁ウェブ (2017 年
3 月 3 日)、オンライン：
https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyuukokukanri03_00019.html

(記事)

Addis Standard 「Rights Commission declares measures against protesters in Oromia
“proportional”, admits excessive force used against Qimant people [人権委員会がオロ
ミヤ州における抗議デモ参加者に対する措置が「相応」と宣言、キマント人に対

回答:エチオピア 2021 年 10 月 18 日

して過度の武力使用と認定]」(2016 年 6 月 11 日)、オンライン：
<https://addisstandard.com/news-rights-commission-declares-measures-against-protesters-in-oromia-proportional-admits-excessive-force-used-against-qimant-people/>

Ethiopia Insight 「Viewpoint: The Ethiopian Qemant of the Agaw in perspective [見解：エチオピアのアガウ族系キマント族の見通し]」(2019 年 3 月 6 日)、オンライン：
<https://www.ethiopia-insight.com/2019/03/06/the-ethiopian-qemant-of-the-agaw-in-perspective/>